

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成30年8月29日(水)午後7時00分～午後8時30分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	神木基晴地区議長、山川亜紀子委員、 長ヶ原美博委員、伊垣容子委員
事務局	鶴瀬公民館長、同副館長 (合計6名)
欠席者	無し
会議録確認	神木基晴地区議長
公開・非公開	公開(傍聴人 0名)
会議次第	報告事項 ①平成30年度上半期(4月～8月)の事業について ②利用者連合会総会、利用者懇談会について 協議事項 ①公民館事業について ②事業評価の分担について
会議資料	資料1:8月までの報告と今後の予定 資料2:平成30年度富士見市立鶴瀬公民館 運営方針&事業報告 資料3:鶴瀬公民館事業評価

会議内容

○傍聴希望者がいないことを確認

(1) 報告事項

①平成29年度上半期(4月～8月)の事業について

資料1に基づき館長より報告

鶴瀬公民館は、4月から7月まで、たて続けに事業がある。

〈学級・講座〉

- ・子育てサロン：充実している。親子の交流・親の勉強会・サポーター養成等
- ・子どもの居場所づくり支援事業：地域子ども教室支援
- ・介護関係講座等：ひだまりほっとたいむ等高齢者の居場所になっている。
- ・第43期鶴瀬学級：200人近い受講生
- ・パソコン相談室：他市にない形態で誰でも気軽に相談できる。サポーターは定年後の第2の活動の場として活躍している
- ・市民生活講座：イムス富士見総合病院などの民間や他団体との連携事業。
- ・げんもりかん：実行委員会主体の映画会
- ・第45回富士見市子どもフェスティバル：市P連・放課後児童クラブなど若いスタッフや中高生のボランティアが活躍している。
- ・第41期富士見市民大学：NPO団体になり、補助をしている。外部事業評価では、高い評価を受けている。
- ・平和・憲法啓発事業：ピースフェスティバル2018開催。平和をテーマにした事業は他市ではほとんどないので大事にしたい事業。

〈情報提供・相談〉

- ・公民館だよりの発行：市民による編集委員によって編集。公民館区全戸配布。
- ・利用者連合会：総会、バスハイク開催。総会には委員2名出席。

委員より

利用連の会合には、公運審も可能な限り出席し、利用者意見を聞いてほしい、という要望あり。解決は難しくても聞いてもらえるだけでもよい。意欲を感じるが、どの団体も後継者について考える時期にきている。

質疑・意見

- ・委員：サークル活動をしている方は、つるせ公民館まつりのような発表の場を求めている。公民館が発表の場をどう保障してあげるかとても大切なこと。
- ・委員：市民大学の開講式を見たが、それぞれの講座では実行委員が張り付いて一生懸命やっている。皆さん長年の経験があり、バトンタッチはなかなか難しい面がある。一人でいくつもの役割をこなし、全体を動かしている。どうしたらうまく続けていけるか。
- ・委員：後継者という問題について、サークル結成12年だが結成当初は利用者連合会へ参加していたが、新しい人が入りづらい雰囲気がある。
- ・委員：利用連の総会へ出席したが、20人くらいの出席者だった。もっと多くの出席になるように各団体から1名というわけにはいかないか。
- ・館：職員がパイプ役としてつなぎ、若い人も入れるような雰囲気をつくるようにしなければならない。
- ・委員：市民として講座などへの参加経験はあるが、何かきっかけがないとその後へはつながらない。
- ・委員：積極的に意識をしながら新しい人を取込む必要がある。

(2) 協議事項

①公民館事業について

資料2（平成30年度富士見市立鶴瀬公民館運営方針&事業計画）を基に館長より概要を説明。

- ・館：今期は全体公運審の活動について、今までとは違う、何か一つのテーマについてのやりとりをしていきたい。今回の公募委員の意見を聞きたい。
- ・委員：町会との関わりなどは、新しく転入してきた者にとっては、参加しづらい。市に関われるものとして、公民館なら一人でも来れると思いき、参加するようになった。参加したことによって、講座やイベントに関わる人の努力が伺えてよかった。より足を運んでもらうにはどうしたらいいのか公運審として考えていきたい。
- ・館：全体公運審の中でもこのような意見を気軽に言えるような場にしたい。
- ・委員：先入観を持たずに、誰もが意見を出せるようにするには、どう改善をしたらいいか、館長間でも検討し良い方法を。
- ・館：公民館が教育委員会から市長部局へ移り市民センターになっていく傾向があるが、富士見市はこれまでの公民館の歩みがあり入間地区でも高い評価を受けているので、すぐにはそうならないのではないかと。
- ・委員：資料2は、平成29年度の事業評価を踏まえ、まとめられたものだろうが、

特徴的なことは何か。

- ・公：昨年度新規事業として行い好評だった「民間との連携」による「健康スマイル講座」があげられる。今年度は6月から2月まで年間を通して開催する。

②事業評価の分担について

資料3を参照にしながら、担当より説明。

- ・前任者が担当していた部分を新委員、その他は昨年度と同じということで決定。

(3) その他

①9/27 全体公運審会議について

- ・みずほ台コミセン 18時開会、会議終了後歓送迎会 19:30の確認。

②次回地域公運審会議について

- ・11月の全体会議終了後に打合せにより決定する。

閉会